

どうする大学生活

1・2年生の早い時期から将来のキャリアデザインを考え、自分自身の大学生活を「デザイン」して行動計画を立てましょう。
下の表は、各学年での目標と課題のモデルプランです。大学生活を通じて、計画的に社会で貢献できる力を身に付けていきましょう。

	1年次	2年次	3年次	4年次
目 標	卒業後のキャリアプランと必要な準備や就活について知り、大学生活をデザインする	様々な働き方や社会で求められる力について理解し、身に付ける	具体的な自身の将来の働き方について考え、進路に向け必要な準備を行う	希望する進路の採用試験を受け、進路決定する
課 題	現代の社会と仕事について知る 社会で求められる力と就活を知る 自分自身を理解し、大学生活の過ごし方考える 社会で求められるコミュニケーション力について理解し、実践する 様々な経験を通じて、社会への関心を高める	社会での働き方を具体的に知る インターンシップに参加できる力を身に付ける 業界・企業について理解する力を身に付ける	インターンシップ等を通じて個別の企業・業界について幅広く理解を深める 過去の経験を振り返り、将来の社会との関わり方を具体的に考える	具体的なビジョンに基づいて進路の候補を決め、それぞれの選考を受ける 最終的な進路を決定し、社会人になるための備えを行う

Point1 社会で求められる力=「社会人基礎力」を育もう

「社会人基礎力」とは、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として経済産業省が2006年に提唱した、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力(12の能力要素)で企業の採用選考でもこれらの力が求められています。勉強、部活、アルバイトなど学生生活の様々な実体験を通じてこそ身に付けることができる力です。失敗を恐れず、目標をもってチャレンジを繰り返していきましょう。

Point2 「PDCAサイクル」を身に付けよう

PDCAサイクルは目標を達成するためのフレームワークです。計画を立て(Plan)、実行し(Do)、結果を振り返り(Check)、次に活かす(Action)考え方で、ビジネスの世界で広く活用されていますが、キャリアデザインにも応用されています。普段からPDCAサイクルを意識して取り組むことで、「自ら考え行動する」習慣を身に付ける事が出来ます。PDCAを意識し、ブラッシュアップを繰り返すことで、より充実した大学生活を送りましょう。

Point3 「共感力」を磨こう

就職活動では2つの「共感力」が必要です。自分が受けたい企業を見つけるための「相手に共感する力」と、自分を知ってもらい一緒に働きたいと思ってもらうための「自分に共感してもらう力」です。そのためには、「相手を知る力」、「自分を知る力」、「自分を知ってもらう力」が必要です。大学3年の就活が始まるまでの間に、こうした力を磨いていきましょう。

社会人基礎力とは			
3つの能力	能力要素	内容	説明
前に踏み出す力 (アクション) 一歩前に踏み出し、失敗しても振り返り取り組む力	主体性	物事に進んで取り組む力	指示待ちにならず、一人独りで物事を受え、自ら行動できるようにすることが求められている。
	働きかけ力	他人に働きかけ惹き込む力	
	実行力	目的を特定し確実に行動する力	
考え抜く力 (シンキング) 課題を持ち考え抜く力	課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力	論理的に答えを出すこと以上に、自ら課題提起し、解決のためのシナリオを描く、自律的な思考力が求められている。
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	
	創造力	新しい価値を生み出す力	
チームで働く力 (チームワーク) 多様な人々と共に目標に向けて協力する力	発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力	グループ内の協働性だけに留まらず、多様な人々との繋がりや協働性を生み出す力が求められている。
	傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力	
	柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力	
	状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係を理解する力	
	規律性	社会のルールや人の約束を守る力	
	ストレスコントロール力	ストレスの発生期に対応する力	

出典:経済産業省「社会人基礎力」

